

平成21年3月16日

六甲山自然案内人の会3月度
定例自然観察会 参加者各位

魅惑(309m)の甲山探訪報告書

六甲山自然案内人の会

当会 3 月度定例自然観察会へのご参加、ありがとうございました。お楽しみいただけたでしょうか。皆様と一緒に巡りました今回のコースと観察ポイントを整理してみました。又訪れるときの参考にさせていただければと思います。

1、実施日時 & 天候 平成21年3月8日(日) 9:00~15:00 晴れ(きわめて良好)

2、参加者数 会員 18名 ビジター 26名 計 44名

3、観察コース 甲陽園大池—銀水橋—北山緑化植物園—北山貯水池—神呪寺

(出発時間) 9:40 10:10 11:30(トイレ) 12:30[昼食] 13:20(トイレ)

甲山森林公園—地すべり資料館—関西学院

通過 14:20 14:50(解散)

※受付: 阪急甲陽園駅前 8:45~9:00

※解散: 関西学院大学構内 14:50(予定の甲東園駅前解散を変更した)

4、観察地点 ①甲陽園大池 : 野鳥(バン、オオバン、ハシビロガモ、カワセミ他)

&観察内容 水草(ガマ、アシ)

蔓植物(ノウゼンカズラの付着根、ナツツタの巻きひげの先端の吸盤)

②緑化植物園 : 植物(クロバイ、ユズリハ、ヒメユズリハ、メタセコイア、ラクウショウ)
ボルダーの奇観

③北山貯水池 : 野鳥(シジュウカラガン、マガモ)

④神呪寺 : 野仏(八十八ヶ所巡り)とボルダーの説明

⑤甲山 : 地質(大阪層群のチャート、甲山安山岩)と甲山の成り立ちの説明

⑥仁川地すべり資料館前 : 阪神淡路大震災の地すべり災害現場で説明

⑦関西学院 : ユーカリ、ユリノキ

好天に恵まれ、観察対象にも恵まれながら、説明不足が多々ありました。悔やまれると同時に、皆様には申し訳なく思います。どうぞこれに懲りることなく、4 月度の観察会にも是非お誘い合わせの上ご参加くださいますよう、お願いします。

六甲山自然案内人の会 3月定例観察会

平成21年3月8日

観察会の一部を写真に収めましたので、ご笑覧ください。



オオバン(冬鳥)
写真が小さすぎて白い額板が見えませんね。
申し訳ありません。



バン(夏鳥)
この池で繁殖しています。



ハシビロガモ
くちばしが長く、広いのが分かりますか。



シジウカラガン(カナダガン)
ただ1羽、何年も前から住み着いています。
日本では生息していません。



記念写真
北山貯水池、甲山を背景にして



矢穴跡のあるボルダー
徳川大阪城の城壁になるはずだった巨岩です。
西宮、芦屋には多く見られます。



仁川地すべり災害跡
1995年1月17日、34人の命を奪った阪神淡路大震災の仁川斜面崩壊の跡



クロバイの巨樹
六甲山には少ない樹木ですが、このあたりには結構あります。



花崗岩の風化
真砂化して滑りやすくなった道を下る。



ユズリハとヒメユズリハ
手前がヒメで、奥にユズリハ。違いを見分けられるようになりましたね。



ラクウショウ(ヌマスギ)の呼吸根
メタセコイアとの違いもわかるようになりましたね。



ガマの穂の綿毛
因幡の白兔は、この綿に包まって、傷を治しました。花粉は漢方薬にもなっています。